

回覧

地域の皆さんに、一体となって保育園・小中学校を支えていただく、
「池田町コミュニティ・スクール」 **かわら版**

子どもの居場所づくり

「放課後子ども教室」 / 「放課後児童クラブ」

「放課後」の子どもは
 どのように過ごしているの？



夏祭り(かえてにて)

「放課後子ども教室」



すべての子どもを対象として**放課後**に安心・安全な居場所を提供(文部科学省)

実施日:週2回(月・水) 場所:池田小学校・会染小学校

「放課後児童クラブ」



留守家庭の児童に対して、**放課後**や**休日**に遊びや生活の場を提供(こども家庭庁)

実施日:原則、年間250日以上 場所:池田児童クラブ・会染児童センター

就労形態の多様化など子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後や休日に子どもが安心して過ごせる場所が必要です。そのため池田町では放課後の居場所として、「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」などに取り組んでいます。このような放課後児童対策のなかでも、今回は地域学校協働活動にも位置づけられている「放課後子ども教室」に着目します。

Q 「放課後子ども教室」の指導・見守りをしているのは誰なのでしょう？(先生?保護者?地域の人?)



放課後子ども教室とは

「放課後子ども教室」は、池田町の2つの小学校が拠点で、すべての子どもが対象です。この活動は、**地域の方**のご協力を得て企画・運営されています。

放課後の居場所づくり

「放課後子ども教室」では、**すべての子どもを対象に、安全に生活し遊べる居場所**を提供しています。池田町では平成30年度からスタートし、池田・会染の2つの小学校区を拠点にして、週2回(月・水)活動しています。池田小学校では「図工室」、会染小学校では「家庭科室」を中心に利用しています。子どもたちは下校後に帰宅せず、そのまま活動に参加でき、誰と何を遊ぶのか自分で決められます。また、水曜日は地域の方も関わり、工作や運動遊びなどの体験活動が企画されています。現在、池田45名(池田小の24.5%)、会染28名(会染小の15.2%)の計73名が「放課後子ども教室」を活用しています。

活動の様子～ミニクリスマス会～

2025年12月25日(水)に池田の「放課後子ども教室」で開催されたミニクリスマス会では、子どもたちが作品や特技を発表しました。子どもたちは、バスケットボールや漢字クイズなどの特技や編み物を発表。クリスマスソングの披露では、みんなで一緒になって盛り上がり楽しいクリスマスを過ごせたようです。ハンドベルとピアノで「ジングルベル」を演奏した4人の小学生は、少し緊張した表情を浮かべながらも練習の成果を発揮しました。子どもたちは、「本番の緊張よりも練習のほうが大変でした。」と初めてハンドベルに挑戦し成功した喜びを話してくれました。



子どもの居場所を一緒に作りませんか？

池田町には、放課後子ども教室を運営している地域コーディネーターと教育活動サポーター(4名)がいます。教育活動サポーターの清水さんは「週2回の短い活動の中で子どもたちと関係を作るのは大変なところもありますが、子どもたちが楽しいと思える居場所を作っていきたいです。」と話してくれました。



子どもたちと地域のサポーター

「放課後子ども教室」では、地域の方（ボランティア等）の多大な支援により、子どもたちは「楽しく安全に」生活できています。地域の方はどのような思いで子どもたちと関わっているのでしょうか。



しらいし 白石さん INTERVIEW 地域コーディネーター

白石さんは「放課後子ども教室」の企画やイベントの計画を担ってくれている地域コーディネーターです。居場所づくりへの思いを語っていただきました！

—地域コーディネーターの仕事内容は？

「放課後子ども教室」の企画や児童の募集、ボランティアの調整を行っています。また、主に水曜日に実施している体験活動の計画もしています。

—どのような活動がある？

月曜日は原則自由遊びです。子どもたちは宿題をしてから工作や野球などの好きな遊びをして過ごしています。水曜日は、地域の人を交えた活動をすることもあります。例えば地域の方にご協力いただいてジャガイモ掘りや焼き芋会をしたこともありました。

—子どもたちと接する上で大切にしていることは？

「放課後子ども教室」は、子どもが自由に好きな遊びを楽しめる場の提供をしています。放課後の時間、安心・安全な子どもの居場所として、子どもたちが「楽しかった」と思える時間と場所になるよう職員一同お手伝いをしています。

—どんな時にやりがいを感じますか？

職員としては、子どもたちとの関わりで悩むこともありますが、「楽しかった！嬉しかった！」と子どもたちが楽しんでくれるのが私たちのやりがいです。また異年齢での交わりも大切にしており、学年問わず居場所を作れた時に、やっていて良かったと思います。



地域と関わる高瀬中

高瀬中の生徒は地域と関わる体験を通して、町の魅力を感じています。また、将来の選択や視野を広げることに繋がります。子どもが地域と関わり得られるものは、たくさんあります。

【3年生総合×保護者×地域】まとめ発表

2025年12月19日（金）に、高瀬中学校の3年生64名は「発信！いけだまち」というテーマで探究学習してきた成果を発表しました。生徒は、3年間学習を進める中で、達成感や大変さを感じながら池田町の魅力について実感できたようです。

生徒は、試作品の失敗などの課題に直面しながらも、友達や地域の方と一緒に協力して取り組んできました。「無農薬野菜」のグループでは、将来農業をやってみたいと語る生徒もいて、苦労しながらも仲間と一緒に乗り越えた達成感があったようです。



← 竹を使った製品の販売



← 池田鉄道の調査



ガーデンハックルベリーを使ったジャム



スウェーデントーチ販売



花のコースターの販売

発表グループ名	スウェーデントーチ	ラベンダーサシェ	ディフューザー	花の商品開発	竹竹バンブーハウス	ガーデンハックルベリー
とれたてレシピ	無農薬野菜①	無農薬野菜②	パンフレット	高瀬川の植物	池田鉄道	マウンテンバイク(MTB)



生徒が積極的に地域に関われるのは、「放課後子ども教室」のように小学校の頃から地域の人と関わる経験があったからかもしれません。地域住民の参画を得て、放課後等にすべての児童・生徒を対象に体験・交流する活動は、「放課後子ども教室」の他に「土曜ふるさとクラブ」、「ふるさとチャレンジ塾」、「水曜ステップアップ塾」があります。今後これらの活動についてもご紹介していきたいと思ひます。

問い合わせ 池田町教育委員会 電話 61-1430 Fax 61-1665